

「統計」ってなんだろう？

◎統計って何だろう？

人、物、出来事などの集団について調べたり、集めたりした結果を集計・加工して「数」で表し、全体がよく分かるようにしたものを統計というよ。
統計は、身近なところでいろいろ使われているよ。



例えば、

- ・「**テストのクラス平均点**」 クラス全員のテストの点数 → 加工 → クラスの平均点
- ・「**平成〇年雪日数**」 平成〇年に雪などが観測された日の数 → 集計 → 雪日数
- ・「**アンケート結果**」 集めたアンケート → 集計 → アンケート結果



◎統計を表にすれば「統計表」、グラフにすれば「統計グラフ」のできあがり

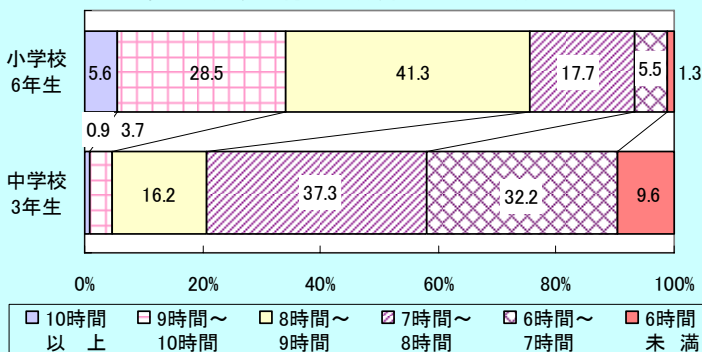
睡眠時間（福井県内の公立学校）

（単位：%）

	10時間以上	9時間～10時間	8時間～9時間	7時間～8時間	6時間～7時間	6時間未満
小学校6年生	5.6	28.5	41.3	17.7	5.5	1.3
中学校3年生	0.9	3.7	16.2	37.3	32.2	9.6



睡眠時間（福井県内の公立学校）



統計は、数字で表されるから、比べやすいし、事実をとらえることができるね。
グラフは、どこが多いのかすぐに分かるので、わかりやすいね。



出典：平成19年全国学力・学習状況調査（文部科学省）

◎統計から事実がみえるから、いろいろなところで利用されているよ。



統計は、どんなところで利用されているのかな？

国では、税金や健康保険、雇用保険の額を決める際の参考として利用しているよ。



家庭では、家計簿をつけて、お金がかかっているところを見直したりするのに使うよ。



会社では、客の好みを把握するための市場調査や、工場での品質管理に利用しているよ。

